



# 2015年度 エコアクション21 環境活動レポート

【期間:2015年4月～2016年3月】



株式会社 **関西マツダ**

発行日 2016年5月20日

- 1 《目次》
- 2 《組織の概要》
- 3 《実施体制》
- 4 《店舗一覧表》
- 5 《環境方針》
- 6~7 《環境目標》
- 8~9 《環境活動計画》
- 10~13 《環境活動計画の取組結果と評価及び次年度の取組》
- 14 《主な環境関連法規の違反・訴訟の有無》
- 15 《代表者による全体評価と見直しの結果》

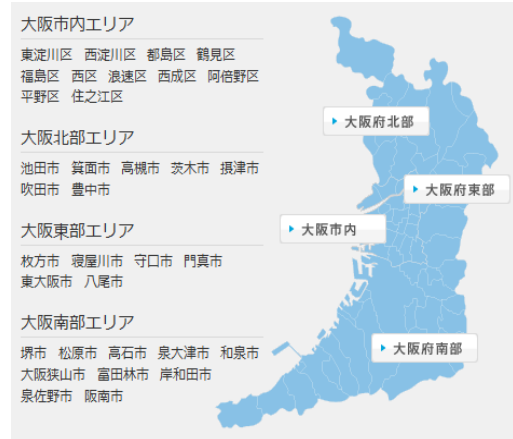


# 株式会社関西マツダ 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名  
 株式会社関西マツダ  
 代表取締役 東堂一義

2. 所在地  
 大阪府大阪市浪速区桜川1丁目3番25号

3. 事業内容  
 新車販売  
 中古車販売  
 自動車の整備  
 自動車賃貸業(レンタカー事業)  
 各種自動車部品及び用品販売  
 自動車保険等の損害保険代理店業務、生命保険の募集に関する業務



4. 事業規模

- ① 店舗数 大阪府下54店舗(中古車・BPセンター・レンタカー店舗含む)
- ② 従業員数 1,045名 (2016年3月1日現在)
- ③ 年間売上高 371億9038万円 (2016年3月期実績)
- ④ 年間新車売上台数 11,996台 (2016年3月期実績)
- ⑤ 年間サービス売上高 65億724万円 (2016年3月期実績)
- ⑥ 認証登録店舗(2016年4月現在)54店舗
- ⑦ 対象店舗 ※下記

5. 対象組織 全組織とする

本社
----

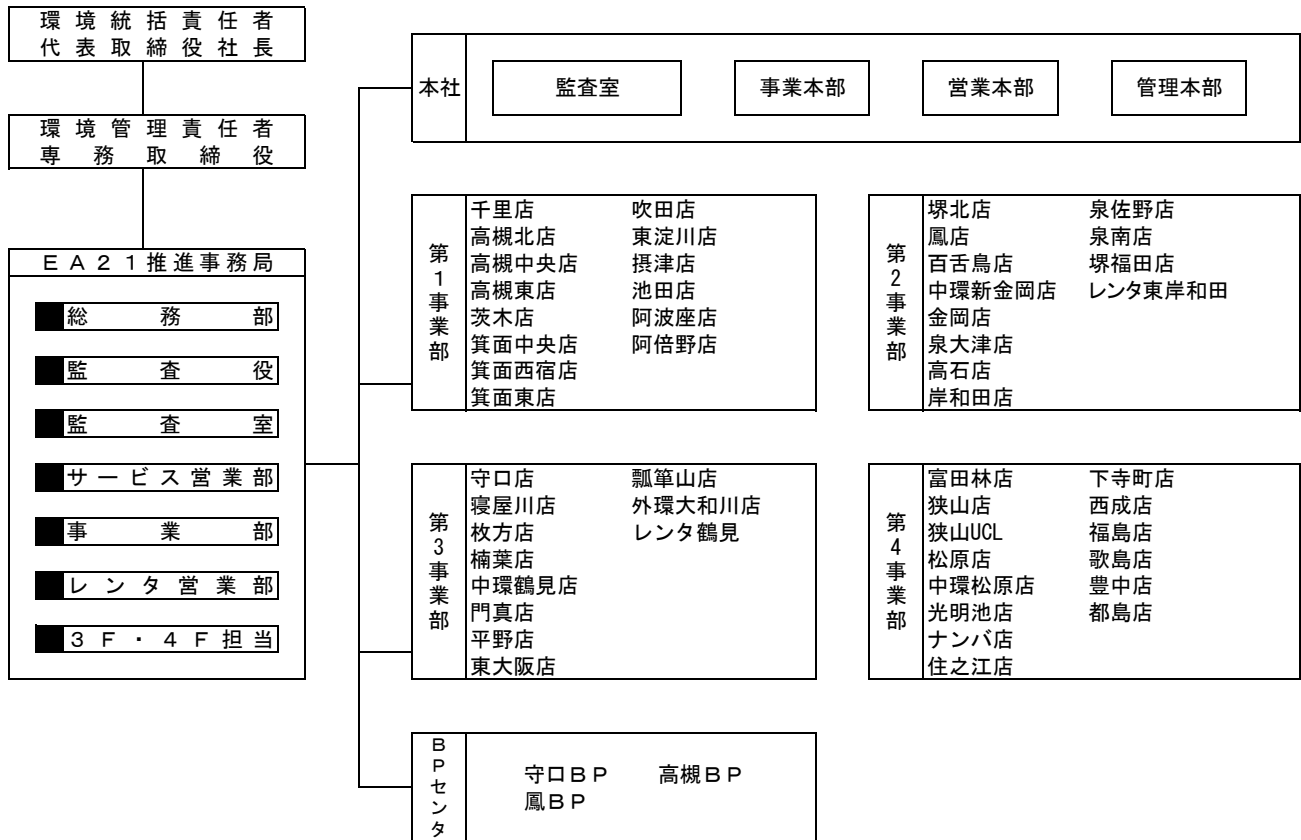
第1事業部	千里店
	高槻北店
	高槻東店
	茨木店
	箕面中央店
	箕面西宿店
	箕面東店
	吹田店
	東淀川店
	摂津店
	池田店
	阿波座店
	阿倍野店

第2事業部	堺北店
	鳳店
	百舌鳥店
	中環新金岡店
	金岡店
	泉大津店
	高石店
	岸和田店
	泉佐野店
	泉南店
	堺福田店 レンタ東岸和田店

第3事業部	守口店
	寝屋川店
	枚方店
	楠葉店
	中環鶴見店
	門真店
	平野店
	東大阪店
	瓢箪山店
	外環大和川店 レンタ鶴見店

第4事業部	富田林店
	狭山店
	狭山UCL
	松原店
	中環松原店
	光明池店
	ナンバ店
	住之江店
	下寺町店
	西成店
	福島店
	歌島店
	豊中店 都島店

BP	守口BPセンター
	鳳BPセンター
	高槻BPセンター



<役割>

環境統括責任者	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認	
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動レポートの確認	
E A 2 1 推進事務局	総務部	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全体的な環境取組を推進する ・店舗の環境取り組みの指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ
	監査室 サービス営業部 事業部	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特にサービス工場領域に関する環境取組を推進する
	3 F ・ 4 F 担当者	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特に本社領域に関する環境取組を推進する
店舗環境管理責任者 正：店長 副：サービスM g r	店舗での環境取組を推進する ・店長は店舗の環境取り組み全体の責任者として、推進・管理を行う ・サービスマネージャーはサービス工場領域の責任者となり店長をサポートする	

# (株)関西マツダ 店舗一覧表

	店舗名	中古車併設	〒	住所	電話	FAX
本社	EA21環境推進事務局		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8000	06-6561-8019
第1事業部	千里店	○	565-0874	吹田市 古江台 6-1-3	06-6871-1021	06-6871-1026
	高槻北店	○	569-1135	高槻市 今城町 18-6	072-683-0101	072-683-0105
	高槻東店	○	569-0036	高槻市 辻子 3-8-1	072-672-1000	072-672-1005
	茨木店	○	567-0041	茨木市 下穂積 1-8-10	072-622-6741	072-622-6744
	箕面中央店	○	562-0004	箕面市 牧落 5-5-18	072-722-0843	072-722-0991
	箕面西宿店		562-0034	箕面市 西宿 1-5-14	072-729-1135	072-729-2879
	箕面東店	○	562-0004	箕面市 牧落 3-19-30	072-723-8988	072-723-8990
	吹田店		564-0041	吹田市 泉町 3-19-12	06-6338-1561	06-6338-1639
	東淀川店	○	533-0013	大阪市 東淀川区 豊里 7-32-5	06-6326-6371	06-6326-6387
	摂津店	○	566-0062	摂津市 鳥飼上 2-5-13	072-654-3601	072-654-3605
	池田店		563-0025	池田市 城南 3-6-4	072-752-0521	072-752-0524
	阿波座店		550-0006	大阪市 西区 江之子島 1-9-15	06-6443-8391	06-6443-6134
	阿倍野店		545-0011	大阪市 阿倍野区 昭和町 4-4-28	06-6628-7001	06-6628-7005
第2事業部	堺北店	○	590-0985	堺市 堺区 戎島町 4-31	072-238-5571	072-238-5598
	鳳店	○	593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-507	072-262-1441	072-262-1444
	百舌鳥店		591-8033	堺市 北区 百舌鳥西之町 3-517	072-258-1251	072-258-1253
	中環新金岡店	※中古車専売店	591-8025	堺市 北区 長曾根町 1547-1	072-259-5001	072-259-5934
	金岡店		591-8011	堺市 北区 南花田町 273-1	072-251-7731	072-251-7742
	泉大津店		595-0031	泉大津市 我孫子 117-1	0725-21-3181	0725-21-3185
	高石店		592-0012	高石市 西取石 5-2-30	072-262-0120	072-262-0229
	岸和田店		596-0823	岸和田市 下松町 1-1-6	072-439-5621	072-439-5624
	泉佐野店	○	598-0033	泉佐野市 南中安松 1430	072-466-0451	072-466-0588
	泉南店		599-0203	阪南市 黒田 328-1	072-473-3288	072-473-3291
	堺福田店	○	599-8242	堺市 中区 陶器北 1696-1	072-235-2461	072-235-0157
レンタ東岸和田		596-0825	岸和田市 土生町 4169	072-433-8080	072-433-8081	
第3事業部	守口店	○	570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1152	06-6909-6663
	寝屋川店		572-0028	寝屋川市 日新町 21-17	072-831-4521	072-831-4527
	枚方店	○	573-1162	枚方市 甲斐田新町 2-4	072-847-8621	072-847-8641
	楠葉店	○	573-1133	枚方市 招堤元町 2-35-22	072-850-6056	072-850-6066
	中環鶴見店	○	538-0032	大阪市 鶴見区 安田 2-5-19	06-6912-0241	06-6912-0830
	門真店	○	571-0039	門真市 速見町 14-31	06-6909-0456	06-6909-2292
	平野店		547-0035	大阪市 平野区 西脇 1-1-6	06-6702-7221	06-6702-3388
	東大阪店	○	577-0016	東大阪市 長田西 4-4-28	06-6744-1651	06-6744-1656
	瓢箪山店	○	579-8066	東大阪市 下六万寺町 3-8-5	072-987-7365	072-987-7383
	外環大和川店	○	581-0034	八尾市 弓削町 南 2-135	072-949-0909	072-949-9501
	レンタ鶴見		538-0053	大阪市 鶴見区 鶴見 6-1-5	06-6935-6522	06-6933-5354
第4事業部	富田林店		584-0092	富田林市 昭和町 2-1748-7	0721-26-2432	0721-26-2890
	狭山店		589-0013	大阪狭山市 ぐみの木 6-1049-1	072-367-1851	072-367-1856
	狭山UCL	※中古車専売店	589-0013	大阪狭山市 東ぐみの木 4-1343-1	072-368-1562	072-368-1563
	松原店		580-0045	松原市 三宅西 3-250-1	072-335-7551	072-335-2708
	中環松原店		580-0014	松原市 岡 6-3-27	072-334-1621	072-334-1626
	光明池店	○	594-0031	和泉市 伏屋町 4-10-25	0725-50-5566	0725-50-4141
	ナンバ店		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8051	06-6568-6039
	住之江店	○	559-0024	大阪市 住之江区 新北島 1-6-10	06-6685-8521	06-6685-8525
	下寺町店		556-0001	大阪市 浪速区 下寺 1-6-5	06-6633-7831	06-6633-7835
	西成店		557-0041	大阪市 西成区 岸里 2-3-26	06-6659-5561	06-6659-5566
	福島店		553-0006	大阪市 福島区 吉野 5-5-30	06-6461-2851	06-6461-2855
	歌島店		555-0024	大阪市 西淀川区 野里 3-1-4	06-6473-1534	06-6473-1538
	豊中店	○	561-0836	豊中市 庄内宝町 2-7-13	06-6335-2020	06-6331-2100
	都島店		534-0011	大阪市 都島区 高倉町 2-8-1	06-6922-3871	06-6922-3875
BP	高槻BPセンター		569-0844	高槻市 柱本 6-446-9	072-678-5770	072-678-5877
	守口BPセンター		570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1288	06-6904-4811
	鳳BPセンター		593-8328	堺市西区 鳳北町 9-494	072-262-1664	072-266-0530

## 環 境 方 針

### <基本理念>

株式会社関西マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において、全従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、地球環境の保護と未来への豊かな社会づくりに貢献する事を誓います。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 環境負荷の低減を図り、省資源・省エネルギーに努めます。  
そのため、電気・水道・ガソリン等の省エネルギー活動の推進及びグリーン購入の推進を致します。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進致します。  
また、化学物質使用量の削減に取り組みます。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再生利用を推進致します。
5. 当社の事業活動の自動車販売・整備においてお客様に自動車の環境情報を積極的に提供し、自らが販売・提供する製品及びサービスの環境活動の推進に努めます。
6. 環境改善目標を定め、継続的かつ具体的な環境改善活動を実践致します。
7. 全従業員に、この環境方針を周知徹底するとともに、自社のホームページにも掲載し、社会に公表いたします。



平成26年 10月 1日

株式会社関西マツダ  
代表取締役社長

東 堂 一 義

# 株 関 西 マ ッ ダ 環 境 目 標

## 1. 環境負荷の現状 ※全拠点

項目	単位	基準実績			
		2013年度 '13年4月～'14年3月	2014年度 '14年4月～'15年3月	2015年度 '15年4月～'16年3月	
二酸化炭素排出量 ※	kg-CO <sub>2</sub>	4,347,734	4,107,072	4,050,392	
電力使用量	kWh	6,179,784	5,840,297	5,739,044	
化石燃料	ガソリン使用量	L	359,589	317,607	282,148
	軽油使用量	L	66,270	80,544	109,346
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	32,967	32,545	40,712
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	8,754	8,595	6,195
	灯油使用量	L	15,514	13,473	13,396
廃棄物	一般廃棄物	kg	167,973	152,418	124,522
	産業廃棄物	kg	522,105	521,329	557,940
水使用量	m <sup>3</sup>	45,869	44,411	43,136	

※1 排出係数は2012年度関西電力の係数(0.514k-CO<sub>2</sub>kWh)を使用した。



## 2. 環境目標

項目	単位	2013年度実績 (目標となる基準)	目標				
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	4,347,734	4,304,257	4,260,779	4,217,302	4,173,825	
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
電力使用量	kWh	6,179,784	6,117,986	6,056,188	5,994,390	5,932,593	
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	359,589	355,993	352,397	348,801	345,205
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
	軽油使用量	L	66,270	65,607	64,945	64,282	63,619
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	32,967	32,637	32,308	31,978	31,648
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
LPG使用量	m <sup>3</sup>	8,754	8,666	8,579	8,491	8,404	
	(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%		
灯油使用量	L	15,514	15,359	15,204	15,049	14,893	
	(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%		
一般廃棄物排出量	kg	167,973	166,293	164,614	162,934	161,254	
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
産業廃棄物排出量	kg	522,105	516,884	511,663	506,442	501,221	
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
水使用量	m <sup>3</sup>	45,869	45,410	44,952	44,493	44,034	
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	

	購入品目 構成比	目標				
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
グリーン購入		社員への浸透及び促進	環境商品購入の数値化	環境商品の購入比率 対前年以上		
本業における環境配慮	台	スカイアクティブ搭載車の拡販 前年同月比100%以上				

# （株）関西マツダ 環境目標（化学物質取扱量）

## 化学物質取扱量

### 1. 環境負荷の現状 ※下記は高槻BP、守口BP、鳳BP（板金塗装工場）の合計数値

化学物質の種類	単位	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績
エチルベンゼン	kg	72.2	57.9	10.7
トルエン	kg	719.0	595.8	359.8
キシレン	kg	375.0	308.4	56.8
1.3.5-トリメチルベンゼン	kg	51.0	48.9	27.0
スチレン	kg	28.5	2.6	0.7
ノルマルーヘキサン	kg	128.0	76.0	0.2
ナフタレン	kg	4.8	3.4	4.8
4-メチル-2-ペンタノン	kg	1,508.6	96.6	237.3
シクロヘキサノン	kg	1.7	2.5	1.6
1.2.4-トリメチルベンゼン	kg	100.8	111.4	38.5
酢酸ブチル	kg	3,649.5	3,911.5	2,841.8
メタノール	kg	79.2	137.2	70.3
1-ブタノール	kg	0.9	0.0	0.0
メチルエチルケトン	kg	10.8	21.3	0.3

### 2. 環境目標 ※BPセンター（板金塗装工場）

化学物質の適正な取扱い処理を把握します。



取り組み内容

1.環境教育・訓練を実施する。 EA活動の促進及び意識向上・教育（PDCAの実践）

- ①環境に関するミーティング(エコアクション21活動ミーティング)を月1回以上開催して  
拠点メンバーで取組みに関する反省や今後の取組みを話し合い、ミーティングシートに記録する。
- ②緊急時を想定しての緊急対応訓練を年に最低1回は実施する。
- ③推進事務局から定期的に提供される「ワンポイントレッスン」を活用して「環境教育訓練」を実施し「環境教育訓練記録簿」に記録する。

2. 二酸化炭素排出量の削減

- 1)電力使用量の削減
  - ①メジャーサインの点灯時間の管理
  - ②ショールームの消灯時間の順守
  - ③不要な照明の消灯の確認
  - ④昼休み、退社時の工場の消灯
  - ⑤自動販売機の照明の消灯
  - ⑥エアコンの温度設定の確認・退社時の電源OFF
  - ⑦エアコンフィルターの定期的な清掃
  - ⑧エアコンプレッサーの退社時電源OFF
  - ⑨退社時や長時間離席時のOA機器の電源OFF
  - ⑩エコアクション21実績表を基に電気使用量を把握する

3. 自動車燃料の削減

- ①エコドライブの啓発(エコドライブ10のすすめ)
- ②タイヤの空気圧・不要な荷物チェック
- ③サービスカーなどへのエコオイルの使用

4. 廃棄物の削減

- ①一般廃棄物の削減
- ②コピー用紙使用量の削減
- ③産業廃棄物の適正処理の徹底
- ④廃油・廃バッテリーは有価物として処理する

5.水使用量の削減

- ①水道使用量の確認
- ②節水の掲示を各蛇口周辺に貼る
- ③洗車用ホースにストップノズルを取り付ける

## (株)関西マツダ 環境活動計画 (2)

### 取組内容

#### 6. 化学物質の取扱い

- ①化学物質の取り扱い量の把握及び適正な扱い処理

#### 7. グリーン購入

- ①エコ商品の購入状況の把握
- ②エコマーク商品の購入

#### 8. 本業における環境配慮

- ①スカイアクティブ搭載車両の拡販
- ②エコタイヤ(低燃費タイヤ)の取扱い

#### 9. ライトダウンキャンペーン2015(2015年6月22日・7月7日)への参加

- ①夏至の日の6月21日に20:00以降は屋外照明を消灯
- ②七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯

#### 10. フロン排出抑制法の対応

- ①7.5kw未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)
- ②7.5kw以上の50kw未満の業務用エアコンは業者による定期点検の実施(3年/1回)

1. 環境負荷数値の実績

項目	単位	2013年度	2015年度				
		(基準実績)	目標値	実績	削減率(A)	削減率(B)	
二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO2	4,347,734	4,260,779	4,050,392	5%	7%	
電力使用量	kWh	6,179,784	6,056,188	5,739,044	5%	7%	
化石燃料使用量	ガソリン・軽油合計	L	425,859	417,342	391,494	6%	8%
	ガソリン使用量	L	359,589	352,397	282,148	20%	22%
	軽油使用量	L	66,270	64,945	109,346	※2	※2
	都市ガス・LPG合計	m <sup>3</sup>	41,721	40,887	46,907	※2	※2
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	32,967	32,308	40,712	※2	※2
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	8,754	8,579	6,195	28%	29%
灯油使用量	L	15,514	15,204	13,396	12%	14%	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	167,973	164,614	124,522	24%	26%
	産業廃棄物排出量	kg	522,105	511,663	557,940	※2	※2
	水使用量	m <sup>3</sup>	45,869	44,952	43,136	4%	6%

※1 電力使用量のCO2排出係数は、0.514を適用

※2 増加

※削減率(A)...目標値に対する削減率

※削減率(B)...2013年実績数値に対する削減率

2. 環境商品(スカイアクティブ搭載車両)の販売実績

2015年度新車売上げ台数	11,996 台
内)スカイアクティブ搭載車両	8,008 台
スカイ搭載車両販売比率	66.7 %



※2015年度新車販売台数の3分の2以上がスカイアクティブ搭載車両を販売することができている。

3. 環境商品(エコタイヤ / 低燃費タイヤ)の販売実績

※下記の4メーカー31種類のエコタイヤ(低燃費タイヤ)を取扱いしました。  
 タイヤ販売数 32,439本中、エコタイヤ販売 16,313本 販売比率 50.2%

〈ブリヂストン〉エコタイヤ		〈ダンロップ〉エコタイヤ		〈トーヨー〉エコタイヤ		〈ヨコハマ〉エコタイヤ	
REGNO GR-XI		エナセーブ EC203		ナノエナジー3		BluEarth AE01	
REGNO GRV2		ルマン LM704		ナノエナジー3プラス		BluEarth AE01F	
ECOPIA EP001S		エナセーブ RV503		プロクセスCF2		BluEarth AE50	
ECOPIA EV-01		エナセーブ RV503S		プロクセスCF2SUV		BluEarth EP400	
ECOPIA PZ-X		エナセーブ RV504		トランパスLU2		BluEarth ES31	
ECOPIA PZ-XC		ビューロ VE303		トランパスLUJK		BluEarth RV02	
ECOPIA EX20				トランパスMPZ		ADVAN dB V551	
ECOPIA EX20C							
ECOPIA EX20RV							
ECOPIA EX20C TYPEH							
NEXTRY							
合計	5,402	合計	7,975	合計	2,522	合計	414

## 4. 環境活動計画の取組結果とその評価

### ①二酸化炭素排出量

2015年度目標に対して	5%	削減
2013年度実績に対して	7%	削減

#### 【要因】

電力の削減及びエコアクション活動の浸透、2店舗、1BPセンターの閉鎖、省エネ設備の導入が貢献した

### ②電力使用量

2015年度目標に対して	5%	削減
2013年度実績に対して	7%	削減

#### 【要因】

老朽化したエアコンの代替や新店舗完成による省エネ設備の導入により電力使用量を削減できたことが主要因である。

#### 【2016年度】

鳳BPセンター、中環新金岡店、平野店の全面建替えによって省エネ設備を導入していく

### ③化石燃料使用量の削減

#### A ガソリン使用量

2015年度目標に対して	20%	削減
2013年度実績に対して	22%	削減

#### B 軽油使用量

2015年度目標に対して	68%	増加
2013年度実績に対して	65%	増加

#### C 都市ガス使用量

2015年度目標に対して	26%	増加
2013年度実績に対して	23%	増加

#### D LPG使用量

2015年度目標に対して	28%	削減
2013年度実績に対して	29%	削減

#### E 灯油使用量

2015年度目標に対して	12%	削減
2013年度実績に対して	14%	削減

#### 【要因】

塗装ブースの燃料がLPGを使用していた摂津BPセンターが閉鎖となり、その分の仕事が、都市ガスを塗装ブースの燃料にしている守口BPセンターにまわったため、LPG使用量が減少し、都市ガス使用量が増加した

#### 【2016年度】

- ・車両に給油する燃料(ガソリン+軽油)の内、軽油が占める割合は、2013年度が18.4%に対して2015年度は38.7%に上昇していることがクリーンディーゼル搭載車両の販売比率と比例している
- ・スカイアクティブ搭載車両を含めて販売量の拡大は、グリーン購入量の促進にも繋がります。また当社の大きな経営成果となるので今後も全社を挙げて全力で取り組んでいく。

## (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (3)

### ④水使用量

2015年度目標に対して	4.0%	削減
2013年度実績に対して	6.0%	削減

#### 【要因】

節水に関してはストップノズルの装着など節水意識は定着している。今後も継続的に節水努力をしていく。また、2店舗、1BPセンターの閉鎖が要因となる。

### ⑤産業廃棄物の排出量の削減

2015年度目標に対して	9.0%	増加
2013年度実績に対して	6.8%	増加

#### 【要因】

弁当ガラ、カップ麺の容器など、一般廃棄物で処分していたものを、産業廃棄物として処分することを徹底したことにより、産業廃棄物排出量が増加した。

#### 【有価物としての処理数】

〈2015年度〉

廃バッテリー 152,460Kg                      廃油 521,422Kg

※〈参考〉2014年度

廃バッテリー 141,579Kg                      廃油 537,910Kg

※〈参考〉2013年度

廃バッテリー 147,474Kg                      廃油 531,226Kg

### ⑥ コピー用紙使用量の削減

コピー用紙使用量	2015年度	28,999Kg
	2014年度	29,819Kg
	2013年度	30,540Kg

### ⑦化学物質について

化学物質の適正な取扱い処理及び使用量の把握を引き続き実践していく。

### ⑧グリーン購入について

各拠点、コピー用紙については、GPN掲載商品を購入している。その他一般消耗品の購入時には詰替え商品の選択など拠点ごとに対応している。

#### 【本部で掌握している一般消耗品の購入実績】

(購入実績)…2015年4月～2016年3月の期間    一般消耗品購入 495品目中196品目が  
グリーン購入対象商品でした。 購入比率 39.5%    2014年度…35.8%

### ⑨ ライトダウンキャンペーン2015(2015年6月22日・7月7日)への参加

夏至の日の6月22日に20:00以降は屋外照明を消灯しました  
七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯しました

# (株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (4)

## ⑨太陽光パネルの発電状況

枚方店太陽光パネル…2014年7月設置

2015年度	期間	発電量
4月	3月5日 ~ 4月5日	4,623 kwh
5月	4月6日 ~ 5月8日	6,001 kwh
6月	5月9日 ~ 6月3日	5,761 kwh
7月	6月4日 ~ 7月5日	5,207 kwh
8月	7月6日 ~ 8月5日	5,760 kwh
9月	8月6日 ~ 9月3日	4,604 kwh
10月	9月4日 ~ 10月5日	4,686 kwh
11月	10月6日 ~ 11月5日	4,311 kwh
12月	11月6日 ~ 12月3日	2,002 kwh
1月	12月4日 ~ 1月6日	2,397 kwh
2月	1月7日 ~ 2月3日	2,410 kwh
3月	2月4日 ~ 3月3日	3,679 kwh
合計		51,441 kwh



PHOTO:枚方店

東大阪店太陽光パネル…2013年12月設置

2015年度	期間	発電量
4月	4月13日 ~ 5月14日	4,249 kwh
5月	5月15日 ~ 6月11日	3,604 kwh
6月	6月12日 ~ 7月12日	3,047 kwh
7月	7月13日 ~ 8月11日	3,819 kwh
8月	8月12日 ~ 9月10日	2,749 kwh
9月	9月11日 ~ 10月13日	3,646 kwh
10月	10月14日 ~ 11月12日	3,181 kwh
11月	11月13日 ~ 12月10日	1,837 kwh
12月	12月11日 ~ 1月14日	2,418 kwh
1月	1月15日 ~ 2月11日	2,453 kwh
2月	2月12日 ~ 3月10日	2,738 kwh
3月	3月11日 ~ 4月12日	3,842 kwh
合計		37,583 kwh



PHOTO:東大阪店

泉佐野店太陽光パネル…2013年7月設置

2015年度	期間	発電量
4月	3月19日 ~ 4月19日	2,370 kwh
5月	4月30日 ~ 5月21日	3,199 kwh
6月	5月22日 ~ 6月18日	1,240 kwh
7月	6月19日 ~ 7月20日	2,592 kwh
8月	7月21日 ~ 8月20日	2,970 kwh
9月	8月21日 ~ 9月17日	2,002 kwh
10月	9月18日 ~ 10月20日	2,501 kwh
11月	10月21日 ~ 11月19日	1,503 kwh
12月	11月20日 ~ 12月17日	978 kwh
1月	12月18日 ~ 1月21日	1,334 kwh
2月	1月22日 ~ 2月18日	1,459 kwh
3月	12月19日 ~ 3月17日	1,936 kwh
合計		24,084 kwh



PHOTO:泉佐野店

※2015年度の3設備合計の発電量は113,108kwh。

# (株)関西マツダ 環境関連法規等のとりまとめ

## 1.環境関連法規

環境関連法規	要求事項	確認
下水道法	特定施設設置届出	○
水質汚濁防止法	特定施設設置届出	○
浄化槽法	設置届出と定期検査	○
騒音規制法	特定施設設置届出	○
振動規制法	特定施設設置届出	○
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	使用済自動車の適正処理	○
グリーン購入法	環境負荷の少ない商品の購入促進	○
消防法	少量危険物の届出、設備の設置	○
省エネ法 (エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律)	定期報告書、中長期計画書等の提出 エネルギー管理統括者等の選任	○
温対法 (地球温暖化対策の推進に関する法律)	温室効果ガスの排出量の算定、府への報告	○
PRTR法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府化学物質管理制度	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府生活環境の保全等に関する条例	環境保全に関する届出等	○
大阪府温暖化の防止等に関する条例	対策計画書、実績報告書の府への届出	○
労働安全衛生法	作業安全の確保 定期健診(特殊健康診断)	○
PCB特別措置法	適切な保管と届出	○
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに 生活環境の清潔保持に関する条例	廃棄物の減量推進と適正な処理	○
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録の保管	○

主な環境関連法規等の遵守確認を行ったが、いずれも遵守させており特筆すべき事項はなかった。

詳細は、店舗ごとに別表でまとめている。

## 2.違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けていない。

また、同時に訴訟の発生もなかった。

## (株)関西マツダ 代表者による全体の評価と見直し結果表

- ・弁当ガラ、カップ麺容器など 産業廃棄物として処分することは周知徹底ができてきている
- ・老朽化した店舗を中心に全面建替えや、老朽化の激しい空調設備、照明施設等今後も積極的に省エネ設備の導入を行っていく。
- ・サービス工場を中心に作業事故や環境事故を未然に防げるよう整理整頓を促進していく
- ・一方でエコアクション活動の取組みに意識レベルでの店舗間格差があり一定のレベルまで引き上げるのが今後の課題となる。